

# こまくさ

## かいこま訪問看護ステーション



豊かな自然の中を訪問させて頂いています。  
皆さんと共に住みよい地域をめざします。

## 公益社団法人 山梨県看護協会 訪問看護ステーションほっと・ほっと荻崎



笑顔いっぱい頑張ります。在宅療養をされている方々を心を込めて支援いたします。まずはお気軽にご連絡ください。

## 中北保健福祉事務所



ウィズコロナで地域の皆さんと一緒に健康なまちづくりを推進していきます。

## 荻崎市役所



「チームにらさき」で地域の健康を支えます！！

# 所長・支部長あいさつ



## 新型コロナとインフルエンザの 同時流行に備えて

中北保健所長 津金 永二

11月に入り旅行支援などにより人の動きが活発になり、新型コロナ感染者が増加しており、第8波の入口に入っていると言われております。またこの冬は3年ぶりに季節性インフルエンザが流行すると予測されています。同時流行すると山梨県では最大1日5000人の患者が発生すると言われており、医療が逼迫すると思われます。早めにオミクロン株のワクチンとインフルエンザワクチンを接種し予防して頂きたいと思っております。特に高齢者、障害者施設ではクラスターも多発していますので、施設職員へのワクチン接種を勧めて頂き、クラスターが発生した場合には個人防護服着脱など感染拡大防止対策へのご協力をお願いします。新型コロナウイルスは何度も変異し、ワクチン開発も後追いになっています。今後新たな変異株の発生も懸念されており、経口抗ウイルス薬の開発が待たれます。現在の薬は高価で、内服しづらく、併用禁忌の薬剤が多いなど使い難い点があります。早く新薬が登場することを願っています。



## 顔の見える連携構築を目指して ～地区支部活動の強化～

公益社団法人山梨県看護協会

峡北地区支部長 巨摩共立病院 角野 加世子

看護協会峡北地区支部の皆様には、平素より地区支部活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威を振るい、病院やクリニックだけでなく、福祉施設、在宅療養を支える事業所の日常業務に大きな影響を与えました。一般住民の方はコロナ禍以前の生活スタイルに戻りつつありますが、医療や看護・介護にたずさわる私たち看護職員は、行動自粛を余儀なくされている状態が続いています。

このような状況にはありますが、峡北地区支部は有事であるからこそ、顔の見える関係づくりが継続して構築出来るよう、オンラインを駆使した研修会や感染対策に留意した集合研修も企画運営してきました。自然災害や今回のような新興感染症発生時には、地区支部内の事業所の役割を互いに理解しながら、それぞれの役割が十分に発揮出来るよう支援し合うことが重要不可欠です。様々な研修会を通じて、情報交換や共有が旺盛に出来るように今後も活動を強化して参ります。今後もこれまで同様、地区支部活動へご協力を宜しくお願いいたします。

### 看護功労者

氏名	職種	勤務場所
白倉百合香	保健師	北杜市役所
青柳女由美	看護師	恵信葦崎相互病院
生山 菊江	看護師	葦崎市立病院
丸茂 美恵	看護師	北杜市立塩川病院



### 県民の看護師さん

氏名	職種	勤務場所
清水 昭彦	看護師	山梨県立北病院
土屋亜佐美	看護師	山梨県立あけぼの医療福祉センター

受賞おめでとうございます。



# 研 修 会

## 「峡北地区支部地域において起こりうる災害について」 研修会に参加して

葦崎東ヶ丘病院 小池 雅人

今回の研修では中北地域県民センターの大原様よりお話をしていただき、峡北地区で起こりうる災害や対策について考える良い機会となりました。

峡北地区で起こりうる災害としては地震・洪水・土砂災害などが挙げられます。今年8月には八ヶ岳高原ラインで土砂崩れが発生しました。各病院・施設の周辺ではどんな災害の危険性があるのか、ハザードマップを確認して把握しておくことがまずは重要であると理解できました。また、災害事例として取り上げられた岡山県の病院では豪雨の影響で1階部分および非常電源が水没し、患者の治療ができない事態に陥りました。その後の教訓として「患者情報の共有」「主要設備の移転」「BCPの策定」が挙がっています。BCPとは、災害発生時に医療活動を止めないための行動計画を立てることです。各病院・施設に合わせて策定し、それを職員全体で共有していくことの必要性を感じました。

そして災害発生時は正常な判断が行えるとは限りません。東日本大震災においても同様でした。有事の際に自身がどう行動するべきか、常日頃から想像力を働かせて防災を意識していくことが大切であると、今回の研修を通して学ばせていただきました。

## 「こころのケアについて」研修に参加して

北柱市役所 健康増進課 戸島 裕子

今回の研修では、新型コロナウイルス感染症の拡大と蔓延に立ち向かう日々や身を守るための感染対策により、積み続けるストレスから生じる問題やストレスに向き合うことの大切さ、その方法について深沢先生より学ぶことができました。

思考・感情・行動の循環が、私の日々の過ごし方を形づくる。それが悪循環へと傾くと、ごく身近なストレスが、うつ病等の心身の問題へと発展することを再確認し、常に感染への不安を抱えるコロナ渦では、ふとした拍子に悪循環へ転がることを実感しました。しかし、循環が傾いても、私自身の心持ちにより、自分で傾きを治められる。そのために、メンタルヘルスが必要であり、意識して自分の物事の受け止め方と向き合い、時にストレスをかわし、セルフ・トークで自分を勇気づけ、自分でこころの安定を保てることが自信となり、次なるストレスへと立ち向かえると学びました。こころに勇気を持つことが、次は、周りの誰かを勇気づけられる力になる。勇気の連鎖が、誰かのこころの曇りを払う力となる。私もその一助になりたいと思える研修でした。

# 看 護 功 労 者

## 「県民の看護師さん」受賞してのメッセージ

山梨県立北病院 清水 昭彦

この度は「県民の看護師さん」を受賞させて頂くことができ誠に光栄に思います。私は「優しい」「命が救える」看護師を目指しています。そのために精神科看護師としての力をつける努力をしつつAHABLS（アメリカ心臓協会一時救命処置）インストラクター資格を取得し、講師として院内外で救命普及に努めています。近年では身体の合併症を持つ精神科の患者が多くなっているため、精神だけでなく身体面も含めた看護実践が必要となっています。そのためその人が持っている力を最大限引き出し、生活が送れるような支援をしたいと考え、より専門的な知識・技術を身に着けるべく現在精神科認定看護師を目指しています。



# 感染管理認定看護師 (CNIC) として

山梨県立北病院 廣瀬 紀子

当院は精神科単科の病院です。施設の専門性や規模にかかわらず、基本的な感染対策は変わりありません。しかし、精神科では特殊性をふまえた工夫が必要であり、感染対策の基本を崩さずどのように工夫をするのがCNICの腕の見せ所です。コロナ禍では地域の感染状況により強弱のある感染対策の実施が有効と考え、院内フェーズを作成し職員全員で共有しています。また、当院では面会や外出泊は治療の一部であり感染症流行期でも中止しない方針をとっています。面会や外出泊を継続するためにはどのような感染対策を行えばよいのかを提案し実践し評価することがCNICの役割と考えています。第7波以降、職員の感染は増え、日々接触者の確認や検査に追われていますがクラスターは発生していません。ラッキーなだけではなく、職員一人ひとり感染対策の成果であると感謝しています。

コロナ禍では院外での活動が増え、クラスター対応として医療・福祉施設に伺いゾーニングやPPEの着脱などの支援をさせていただいています。様々なご施設でクラスター対応をする中で、平時からの標準予防策の重要性と有事の際の準備の必要性を学びました。また、感染対策は地域での情報共有や協力体制の構築が必要です。新型コロナウイルス感染症が収束して元に戻るのではなく、この経験を活かし進化した感染対策を考えていきたいと思っています。

## 山梨県看護協会峡北地区支部役員

役職名	職種	氏名	所属
支部長	看	角野 加世子	巨摩共立病院
第一副支部長	看看	西純 子	北杜市立甲陽病院
第二副支部長	看看	雨宮 和子	県立あけぼの医療福祉センター
第三副支部長	看保	櫻井 直美	北杜市役所
幹事	看看	塚越 暁美	訪問看護ステーション ほっと・ほっと葦崎
	看看	佐藤 恵	恵信葦崎相互病院
	看看	木内 千枝	県立北病院
	看看	吉田 周平	葦崎東ヶ丘病院
	看看	細田 幸香	峡西病院
	看看	清水 かおり	葦崎市立病院
	看保	飯島 愛子	中北保健福祉事務所
書記 会計	保保	飯野 遼子	南アルプス市役所
	看看	古屋 佳子	白根徳洲会病院
山梨県看護協会 峡北地区支部理事	看	小林 みどり	北杜市立塩川病院
会報委員会	保看	櫻井 直美	北杜市役所
	看看	小池 雅人	葦崎東ヶ丘病院
	看看	小澤 政夫	巨摩共立病院
	看看	根岸 あゆみ	恵信葦崎相互病院
看護連携 継続委員会	看看	雨宮 和子	県立あけぼの医療福祉センター
	看看	清水 百合子	塩川病院訪問看護ステーション つくしんぼ
	看看	小澤 環子	葦崎市立病院
	看看保	本橋 優美子	あさひホーム
	看保	飯島 愛子	中北保健福祉事務所

### 編集後記

皆様のご協力により「こまくさ18号」を発行する運びとなりました。

今年度は研修会を中心に活動の様子を掲載させていただきました。最後に快く寄稿してくださった方々に感謝申し上げます。

**編集委員**

櫻井 直美 北杜市役所

小池 雅人 葦崎東ヶ丘病院

小澤 政夫 巨摩共立病院

根岸 あゆみ 恵信葦崎相互病院


こんな特典があります

### 看護協会入会案内

## 山梨県看護協会 に入会しましょう

1. 看護に関する情報をいち早く入手できます。
2. 山梨県看護学会への参加や研究成果の発表ができます。
3. 会員専用の看護職賠償責任保険制度に任意加入できます。
4. 看護の今を紹介する「看護協会ニュース」をお届けします。  
年4回発行の山梨県看護協会の会報誌(やまなし看護協会ニュース)  
月1回発行の日本看護協会の広報誌(日本看護協会ニュース)
5. 専門・認定看護師資格の取得準備ができます。
6. 山梨県看護協会の研修、日本看護協会の研修への参加や図書館が利用できます。
7. 研究会、勉強会に山梨県看護協会の研修室や会議室が利用できます。

会員  
募集中  
です



お問い合わせ 山梨県看護協会事務局 電話 055-226-4288